**＜2016年度 JIMSA Debate大会のルール＞**

**必ず熟読してから大会に参加してください☆**

☆フローチャート

(1)ディベート大会全般に関して

(2)タイムテーブル

(3)勝敗の決め方

(4)本番の流れ

(5)注意事項

**(1)ディベート大会全般に関して**

①あるテーマについて肯定側と否定側で議論を行うゲームです。

→ジャッジ（審判）を説得させることで決着を付けます。

・テーマ≒PLAN

・肯定側＝AFF（Affirmative）

・否定側＝NEG（Negative）

PLAN：肯定側が論題にのっとり、推奨する政策。

AFF側：PLANが施行されることの正当性を主張します。

NEG側：PLANが施行された場合のデメリットから不当性を主張します。

AFF側、NEG側ともにEvidence（証拠）を用いて戦います。

②2016年のテーマは

「The Japanese government should charge for using ambulance.（日本政府は救急車を有料化すべきである）」です。

③言語は英語で行います。

④基本は1チーム3人、または2人で行います。

⑤AC、NC、AR、NRの各々の時間に主張できるのは1人とします。その間に話し手が変わることは認めません。QTにおいては、何人が受け答えをしてもよいものとします。

⑥Rebuttal 以降のNew Argument ・ Evidenceの言及、提示は禁止とします。一方で、Constructive Speech においては、New Evidence による反論は可能です。

⑦使用したマテリアル（証拠資料と立論）は、あらかじめ余分に印刷しておき、相手チームから申請が合った場合に、すぐに相手に渡せる状態にしておいて下さい。

⑧試合中は、iPadやPCの使用を禁じます。（電子辞書やメモとしての使用も不可です。）試合中にオンライン上で調べ、それをEvidenceとして提出するのは禁止と致します。

⑨電子辞書の使用は許可致します。使用する場合は前もってスタッフに申し出てください。

⑩チームの選手以外によるアドバイス行為は禁止です。

⑪出場者が試合開始時間までにそろわず試合を行えないと判断される場合、そのチームは棄権したとみなし、相手チームを不戦勝とします。

⑫スタッフより提示したAD2つ、DA2つの立論を必ず一つずつ以上使用するものとし、各自で一つずつのみ、立論の追加は可能とします。

**(2)タイムテーブル**

肯定側第一立論（1st Affirmative Constructive Speech）　　 ：6分   
質疑応答（Question Time for NEG）　　　　　　　　　　　：2分

Preparation Time for NEG  
否定側第一立論（1st Negative Constructive Speech）　　 ：6分   
質疑応答（QT for AFF）　　　　 　　　　　　　　　　　　：2分   
PT for AFF

肯定側第二立論（2AC)　　　　　 　　　　　　　　　　　　 ：6分   
質疑応答（QT for NEG）　　　　　　　　　　　　　 　　　：2分   
PT for NEG

否定側第二立論（2NC）　 　　　　　　　　　　　　 ：6分

質疑応答（QT for AFF）　 　　 　　　　　　　　　　　　：2分   
PT for AFF

否定側第一反駁（1st Negative Rebuttal Speech） 　　　　 ：4分   
PT for NEG

肯定側第一反駁（1Affirmative Rebuttal Speech）　 　 　　：4分   
PT for AFF

否定側第二反駁（2NR） 　　　　　　　　　　　　　　　　：4分   
PT for NEG

肯定側第二反駁（2AR） 　　　　　　 　　　　 　　　　　：4分

☆Question Time(QT)…各立論の間に2分間設けられます。ジャッジの評価対象となります。

☆Preparation Time(PT)…各立論の間に、各チームにそれぞれ合計8分間与えられる、準備時間のことです。毎回にタイムキーパーが希望時間を伺います。また、希望時間を過ぎても、8分以内でしたら追加で希望することが可能です。時間配分がカギとなります。

※注意

①QTは反駁では存在しません。

②反駁（Rebuttal）において、新たにAD(AFF側の意見)・DA(NEG側の意見)・Evidence の提示は不可とします。

③各立論、反駁前にロードマッピング（これからスピーチする予定の概要を簡潔に述べること）を15秒程度で行なってください。この時間は制限時間に含まれません。また、“May I start?”を合図にスピーチに入ることができます。

④当大会で特に設定した規定以外は、JDA（日本ディベート協会）大会規則に従います。（http://japan-debate-association.org/contest/rule）

**(3)勝敗の決め方**

ディベートは相手を打ち負かすのではなく、第三者、つまりジャッジを説得するゲームです。

ADとDAを比較してどちらの方が説得力があるのか、つまり倫理性の優劣をジャッジが判断し、立論の残った数が多い方が勝利となります。それでも決まらなかった場合、ポイントによる評価を参考とします。

例）

AD1>DA1 (AD1の方がDA1より説得性がある)

AD2<DA2 (DA2の方がAD2より説得性がある)

AD3>DA3 (AD3の方がDA3より説得性がある)

この場合、AFFの提示したADのうち2つが採択（倫理的に優勢であると）され、NEGのDAは1つしか採択されなかったので、AFFの勝利となります。

※注意

①採択されるADとDAの数が同じ場合はNEG側の勝利です。プランを採択してもデメリットがメリットと同じ位多く、プランを採択する意味がないと判断されるためです。

②ジャッジは、全日本英語討論協会（NAFA）様（参考：http://www.nafadebate.org/）に一任しております。

③決勝進出チームの決定に際して、第１・２試合でついた判定で、勝ち数の多かったチームから順に選ぶものとします。勝敗の数が同じチームが複数あり決勝戦に進出する2チームを選べない場合は、ポイントの多いチームを優先するものとします。ポイントをも同点であった場合は、代表者のじゃんけんで決定することとします。

④決勝戦では複数の正規ジャッジによる判定のほか、オーディエンスジャッジにより判定も考慮に入れます。みなさんに配布されるオーディエンス判定用紙で、皆さんがジャッジの一人となってみましょう。

**(4)本番の流れ**

　予選はAFFとして1試合、NEGとして1試合、計2試合行い、その中から点数の良かった上位2チームで決勝戦を行います。（出場チーム数が確定していないため、変更になる可能性があります。）

　実際の試合の流れは以下のURLを参照してください。(http://www.youtube.com/user/nafadebate)

**(5)注意事項**

※オープニングが開始されるまでは、会場内での大声を出しての私語等は御遠慮下さい。皆様の御理解と御協力を御願い申し上げます。

その他、ご不明な点等ございましたら、下記のメールアドレス（石塚優理）までお気軽にお問い合せください。

2016年度 JIMSA Debate Director

石塚優理

yuriuri.summerkiss@gmail.com